

「ありがとう」

気仙沼市立ししおり小学校2年 きくた るみな

わたしのすんでいた家は、もとはま町にありました。とてもいい町でした。3月11日金曜日。わたしは、一人で学校かえりの道を歩いていました。その日は、学校にのこってべん強してから帰ったので、一人で帰っていました。とつぜん、地しんがきました。前の日の地しんよりも、ずっと大きくて、ぐらぐらゆれ、わたしはこわくなってしゃがみました。

バキッバキッ、ガシャガシャン。

すごい音がしたので、まわりを見ると、電しんばしらがぐらぐらゆれて、たおれそうになっていました。どこかの家のガラスもわれて、とびちっています。電しんばしらの下の道ろが、ひびわれて、茶色い水がばあっと上の方にわき出ているのを見ました。



(どうしよう。この地しん、すごく大きい。)

しゃがみながらゆれるのがいつおわるのかまっていました。でも、なかなか、止まりません。こわかったけど、早くおうちへ帰りたくなくて、少しゆれるのが小さくなったときに走っていました。とちゅうでなん回もゆれたので、しゃがんだり、走ったりをくりかえしながら、帰りました。家につくと、じいじとばあばがいました。またゆれがとまらなかったで、こわくて、ランドセルをおいてこたつにもぐりました。ばあばは、びょう気で足がわるくて、車いすにのっていました。じいじは、車のうんてんができません。となりですむ、わたべさんたちが、たすけに来てくれたとき、ばあばは、トイレに入っていました。

「るみなだけ、先ににげろ。ランドセルばもってげよ。」

じいじは、わたしだけを先ににがしてくれました。わたべさんたちの松岩のしんせきの家にひなんしました。パパやママ、じいじやばあばともれんらくが、とれず、かなしい日がつづきました。わたべさんたちは、みんなとってもやさしくて、わたしにごはんを食べさせてくれ、いっしょにあそんでくれました。でも、夜になると家ぞくに会いたくなくなりました。

(みんなは、どうしているかな。パパとママ、たいがやこはく、じいじとばあばは、だいじょうぶかな。いつになったら会えるんだろう。)

三日目の夜は、がまんができなくなって、ないてしまいました。

しばらくして、ママたちがわたしをおかえにきました。ママとパパに会えたとき、本当にうれしかったです。ママは、ないていました。そのあと、ママのしんせきの家にいっしょに帰りました。そこで、弟のたいがと妹のこはくにも会えました。

でも、じいじとばあばは、そこにはいませんでした。まだ、二人が見つからないことを知りました。

パパとママは、毎日、毎日、ひなんじょや、したいあんちじょへ通って二人をさがしました。

一か月がすぎ、何日かしたあとで、じいじとばあばが見つかりました。

ばあばは、家の近くで見つかり、じいじも少しはなれたところで見つかりました。

ばあばは、びょう気で足がわるくてあまり歩けなかったけど、いつもにこにこして、みんなをわらわせてくれる人でした。

じいじは、りょうりが上手で、よくホットケーキやあさりバターを作ってくれました。つりにもつれて行ってくれました。じいじは、魚をつっても、帰りにはにがしてあげる心のやさしい人でした。

本当は、しんじゃったなんて思いたくないです。また、会いたいです。また、みんなでココスへ行ったり、会って話がしたいです。

天国のじいじとばあばへ

お元気ですか。るみなはとっても元気だよ。今は、かせつじゅうたくにすんでいるんだよ。家ぞくもみんな元気だよ。じいじが、さい後に、「ランドセル、もってげよ。」と言ってくれたから、ランドセルはつなみにながされなかったよ。このランドセルは、ずっと大切につかうからね。

学校のべん強もがんばってるよ。家では、パパやママがいないとき、ごはんを作ってたいがやこはくに食べさせているよ。けんかをすることもあるけど、なかよくあそんでいるよ。さみしくなるときもあったけど、もうだいじょうぶだよ。二人のことはずっとわすれないからね。大人になったらやさしい人になれるようにがんばります。天国から見まもっていてくださいね。じいじ、ばあばありがとう。